

日本薬学会 第136年会 2016年3月26日(土)～29日(火) パシフィコ横浜
一般シンポジウム S02

3月27日(日) 9:00～11:00 C会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 302

**「医薬品による有害事象0(ゼロ)への挑戦
～日本医薬品安全性学会設立を起点として～」**

Challenge to Turn Adverse Drug Event into a Zero
～Starting from the Establishment of Japanese Society of Drug Safety～

座長 福山大学 薬学部 分子微生物学 宇野 勝次
中国労災病院 薬剤部 前田 頼伸

1. オーガナイザー挨拶 福山大学 薬学部 分子微生物学 宇野 勝次
2. 日本医薬品安全性学会が提唱する「被疑薬剤と有害事象の関連度評価基準」と「副作用重篤度(グレード)判定基準」
新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学 齊藤 幹央
3. アレルギー性副作用の発症機序、誘発要因および回避対策の検討の有用性
福山大学 薬学部 分子微生物学 宇野 勝次
4. 中毒性副作用の発症機序、誘発要因および回避対策の検討の有用性～特に慢性腎臓病に着目して～
熊本大学 薬学部 臨床薬理学 平田 純生
5. 病院薬剤師による医薬品の安全性への取り組み
東住吉森本病院 薬剤科 野村 剛久
6. 薬局薬剤師による医薬品の安全性への取り組み
あおぞら薬局 神浦 茉奈実
7. 総括 中国労災病院 薬剤部 前田 頼伸